

輝 ねむろ

We Love Nemuro!

昭和22年から、市民が主体の取り組みとしてスタートした赤い羽根共同募金。今年も10月1日の街頭募金をはじめ、さまざまな募金活動が展開されています。

根室市共同募金委員会の会長を務める大畑繁雄さんは、地域福祉の課題解決や市民のやさしさと思いやりなどを届ける共同募金に、多くの方々のご協力を呼びかけています。運動のスタートとなる街頭募金は市内6カ所で行われ、大畑会長もボランティアの皆さんとともに活動を行っています。「いつも笑顔でご協力をいただく共同募金は、道内

34市の中で目標達成率が10番以内となり、根室の皆さんの関心の高さを強く感じる事ができます。」と、活動の成果に笑顔を見せます。

「自分が住む町が好き、ずっと住み続けたい町」という気持ちを支える共同募金。募金運動を支えるボランティアの皆さんに感謝をしながら、根室がもっと良い町になるようにと話す大畑会長からは、人を愛し町を愛する心が伝わってきます。

共同募金のシンボル「赤い羽根」は、根室の皆さん一人ひとりのやさしい心とともに、秋の風に揺れています。

赤い羽根は町を思う心のシンボル



ふれあい交流会での募金活動

profile **おお はた しげ お** **大 畑 繁 雄** さん
根室市共同募金委員会会長

1926年根室市生まれ。平成14年から根室市共同募金委員会の会長を務めるとともに、根室市社会福祉協議会副会長、北海道共同募金会理事、日本赤十字社根室市有功会副会長として活躍。趣味はゴルフ、読書、風景や人物の写真撮影。

図書館からの おくりもの

司書 熊谷 風子
図書館 TEL (23) 5974番



2年目を迎えた「ブックスタート」

「ブックスタート」2年目の芽吹き

最近、「ブックスタート」で絵本と一緒に贈ったラッコの手提げ袋を持ったお父さんお母さんと赤ちゃんが、本を借りに来てる姿が多く見られるようになりました。親子で絵本を開く「ブックスタート」の体験から、赤ちゃんが家族で絵本を楽しむ読書の輪が広がっていることを、肌で感じているこのごろです。

今まで、絵本の読み聞かせを体験したことのない赤ちゃんが、ボランティアの皆さんの読み聞かせに笑顔で反応し、ご両親が驚く様子を目にしたり、子どもに本を読み聞かせる大切さに気付かされたという声が寄せられるたびに、親子の時間に新しい息吹がもたらされていることを感じます。

こうした親子の読書活動を支援するためにも、10月2日に総合文化会館で開催される「親子で本とのであい・ふれあいフェスティバル」や、定例となっている毎週火曜日の「ちいさい子のおはなし会」などを通して、本に親しみながら子どもたちが健やかに育っていきける読書環境の整備を、図書館もバックアップしていきたいと思えます。